

科目名	国際情報論特講	担当者	マルモリ 丸森 カズヒロ 一寛	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本科目は、国際情報分野の研究を進めるために必要な研究リテラシーと研究基盤となる知識・教養の涵養を目的とする。</p> <p>本年度は、経営学を中心とした内容とする。経営学は、企業を中心とした経営組織を対象として過去の事例を科学的な方法で分析し、そこから真理を探究する社会科学の一分野である。そこにおける知見は、営利組織のみならず教育機関や行政機関などの非営利組織においても有効である場合が多く、経営以外の分野の研究を進める際にも十分に役立つものである。</p> <p>具体的な内容としては、基本書1において、経営学を中心とした分野における必要不可欠な知識を習得する。さらに、スクーリングにおいて上記の理解を深めるとともに、研究倫理を理解しそれを順守して博士前期課程にふさわしい研究をすすめ、論文を作成する基礎を身につけることを目的とする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際情報分野において、研究活動を行うために必須となる知識を習得する。 2. 各自の研究を進めるために必要なリテラシーを身につける。 3. 研究倫理を理解し、それに従って研究を進めることができるようになる。 		
学修方法	<p>国際情報専攻の博士前期課程における必修科目であり、初年度に履修することを想定している。内容は、2単位相当の在宅学習によるレポート作成と2単位相当のスクーリングとにより構成されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通信授業（在宅学習） 基本教材1を精読し、必要に応じて参考図書等を参照しながら、課題のレポートを作成する。 2. スクーリング 履修期間における夏期および冬期のスクーリングに少なくとも1回、全日程（3日間）出席し、発表ならびにディスカッションに参加するとともに、レポート課題1および2を提出する。 		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信授業（在宅学習） 2単位 <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本教材1. のレポート課題1 初稿〆切 平成29年6月末日 → 最終稿〆切 平成29年9月20日 2) 基本教材1. のレポート課題2 初稿〆切 平成29年11月末日 → 最終稿〆切 平成30年1月15日 2. スクーリング 2単位 <ol style="list-style-type: none"> 1) 夏期 平成29年7月15日（土曜日）～17日（月曜日・海の日） 2) 冬期 平成29年11月17日（金曜日）～19日（日曜日） 3) 基本教材2. のレポート課題（提出は最終稿1回のみとする。） レポート課題1の〆切：スクーリング終了後1週間以内 レポート課題2の〆切：スクーリング終了後1か月以内 4) スクーリングの主な内容は以下の通りである。 経営、経済、国際（関係）、政治、の各分野における研究基盤となる内容と研究リテラシー 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	通信授業（在宅学習）	50%	レポートの内容（構成、論旨、引用文献、独創性）：35% 提出状況（期限の順守、初稿から最終稿までの改善度等）：15%
	スクーリング	50%	スクーリングの発表およびディスカッション参加状況（10%）及びレポート課題1（10%）及びレポート課題2（30%）により評価。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な学習のため、履修届を提出したら担当教員（marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp）に必ずメールにて連絡すること。 ・学修およびレポート作成についての注意事項については、全てManaba Folioの「国際情報論特講」の掲示板で告知するので、必ず定期的にチェックすること。 ・レポートを作成する際には、事実と意見を峻別すること。また、意見のうち他者の意見と自分の意見を峻別し、前者については引用部分と出典を明らかにし、後者についてはその根拠を論理的に説明すること。 		

【レポート課題】

基本教材 1 (通信授業/在宅学習用)	
教材の概要	<p>(1) 著者名： 早稲田大学ビジネススクール著 教材名： 『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』（日経BP社、2015） ISBN978-4-8222-4900-7 1,800円+税</p> <p>(2) 著者名： 日本経済新聞社 編 教材名： 『仕事に役立つ経営学』（日本経済新聞出版社、2014） ISBN978-4-532-11314-8 860円+税</p> <p>『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』は、ビジネススクールの主要科目のエッセンスを集約したもので、ビジネスの原理原則を体系的に学ぶための入門書である。ビジネスプランを描くための「戦略思考の基礎」と、その実行方法を解説した「マネジメントの基礎」から構成され、考えることと実行することの基本をバランスよく学習できるように工夫されている。</p> <p>『仕事に役立つ経営学』は、経営学の最前線で活躍する重鎮・気鋭の日本人研究者11名が、今注目を集めるホットなテーマについて執筆したものである。企業の実例が多く織り込まれており、実務に役立つ内容となっている。</p> <p>いずれも、章毎により詳しく学ぶための本を紹介しており、各人の興味に応じてさらに深く学べるように工夫されている。</p>
参考図書	「基本教材（1）収録の「もっと詳しく学ぶための本」および（2）収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	基本教材は、いずれも経営学の基礎知識を持ち合わせていなくとも読み進められる記述となっているが、ベーシックなフレームワークや理論を出発点としながら最新の理論とケースを学べる内容となっている。字面を追うだけでなく、その背景にあるロジックを常に考えながら読み進めてほしい。
レポート課題1	基本書の8の分野（履修届提出者に別途連絡）について、それぞれ①最も刺激を受けた（あるいは有用であると思った）内容と、②それを自ら実際にどのように活用することができるか、また③その際に注意すべき点、を述べてください。
レポート課題2	基本書に記載されているフレームワークや理論が適用できる事例を探し、事実関係を要約するとともに適用するフレームワークや理論を用いて分析してください。

基本教材 2 (スクーリング)	
教材の概要	<p>著者名： 教材名： スクーリングにおいて提示された推薦図書</p>
参考図書	「基本教材（1）収録の「もっと詳しく学ぶための本」および（2）収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	スクーリング前半の「大学院における研究及び論文作成に必要な基礎的事項」において、①研究及び論文の最低条件を理解する、②研究を進めるための基本的なスキルを身につける、③研究及び論文作成のモチベーションを高める、という3つの目的を達成して修士論文を作成するために必要な研究リテラシーを涵養するとともに、後半の「各専攻分野における様々な問題」において、国際情報専攻分野の研究基盤となる知識・教養の涵養に努めること。
レポート課題1	スクーリングの概要を要約し、それについての意見をまとめてください。(1,000字から1,500字)
レポート課題2	夏期：各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 研究計画書 (3,000字から4,000字) をまとめてください。 冬期：各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 研究経過報告書 (3,000字から4,000字) をまとめてください。